

2005年10月31日

報道各位

株式会社エフエム東京
株式会社TBSラジオ&コミュニケーションズ
株式会社文化放送
株式会社ニッポン放送
株式会社J-WAVE

デジタルラジオ事業会社設立に向けた発起人会について

東京民放ラジオ5社(株式会社 エフエム東京、株式会社 TBSラジオ&コミュニケーションズ、株式会社 文化放送、株式会社 ニッポン放送、株式会社 J-WAVE)は、本日(10月31日)午後1時より、有楽町糖業会館にて、来年から東京と大阪で本放送がスタートする、デジタルラジオの事業会社設立に向けた発起人会を開催し、会社の名称を「株式会社 マルチプレックス ジャパン」と命名しました。

既報の通り、総務省は2006年にもデジタルラジオの本放送免許を、全国をサービスエリアとするひとつの実施主体(マルチプレックス)に交付し、置局対策や受信機普及など当該事業会社が経営責任を負って実施すること、事業化にあたって既存アナログラジオ事業者のノウハウと資産の活用を適切に図ることなどの内容を盛り込んだ報告書を発表しています。

今回の発起人会は、この実施主体会社の設立に向けた組織であり、総務省のデジタルラジオ免許方針の発表後、免許を申請、予備免許取得後、正式に事業会社として発足する予定です。

<発起人会 概要>

- 発 起 人：エフエム東京、TBSラジオ&コミュニケーションズ、文化放送、ニッポン放送、J-WAVE
- 発起人代表：エフエム東京 代表取締役会長 後藤 亘

<設立予定の事業会社 概要>

- 名 称：株式会社 マルチプレックス ジャパン
- 本社所在予定地：東京都千代田区
- 会社の目的：デジタルラジオ放送事業、及びこれに関連する事業全般を営む
- 資 本 金：100億円(1株5万円、総数20万株)
- 発起人の株式引受の内訳：

エフエム東京	24億円(48千株)
TBSラジオ&コミュニケーションズ	10億円(20千株)
文化放送	10億円(20千株)
ニッポン放送	10億円(20千株)
J-WAVE	1億円(2千株)

※残り45億円については、全国ラジオ放送事業者のほか、携帯電話キャリア、自動車メーカー、受信機メーカー各社などから出資を仰ぐ予定。

以上